

令和4年度

小・中学校学校運営協議会委員による学校評価

より抜粋

校 名 伊 吹 小 学 校
実施期日 令和5年2月3日～27日
評 価 者 学校運営協議会委員

以下の項目を各小・中学校共通項目とします。学校における自己評価の結果や校長の説明、授業や行事の参観等を基に、評価と御意見をお書きください。

評価の方法は、それぞれの項目の視点の欄に次の記号で評価を記入していただき、御意見をお書きください。

4：よくできている	3：できている
2：あまりできていない	1：できていない

3 個性を生かしつつ一人一人に確かな学力を育む教育の充実

総 合

3.7

視点① 学校は、市や全国の学力学習状況調査の結果を分析し、児童生徒の実態に応じた学力向上策を立て、新学習指導要領の実施に向けて、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動を大切にした取組を行うなど授業改善に学校全体で取り組んでいる。

評 価

3.7

視点② 学校は、英語教育に特に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。

評 価

3.7

※英語教育

・令和2年度からの小学校英語科の学習が本格実施されることに先行し、市内全小学校を英語科の教育課程特例校に指定し、市独自のカリキュラムにより小学校1年生から中学校3年生までの系統的な英語科の学習を行っている。

視点③ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職および特別支援教育コーディネーターを中心に、組織的に取り組み、生活や学習上の困難を克服するための適切な個別の教育的支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばす指導を行っている。

評 価

3.7